

手順④ 大地震発生時の災害リスクを確認し、記入

○ 中島地区(西島・西脇)の地震による危険

最大震度6強～7の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

○ 震度と体感

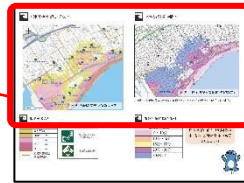
震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまらな いと感じる	物につかまらない と歩くことが難しい	立っていることが 困難になる	這わないと動くこ とができない	耐震性の高い木 造建物でも傾くこ とがある

○ 液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったり、道路に段差が発生する
可能性があります。避難するには足下に注意しましょう。

○ 津波のおそれ

- ① 自宅に、津波が「到達するのか」、「到達しないのか」?
- ② 揺れてから「どのくらいの時間で」津波が到達するのか?
をマップ(「わたしの避難計画」の裏面)で確認
しましょう!



○ 津波が発生した場合

津波は地震発生から短時間で発生します。その破壊力はすさまじく、家屋な
どの建物を破壊してしまいます。また、スピードが速いため、地震がおさまった
らすぐに高台に避難するなどの行動を起こしましょう。

手順⑤ 避難のタイミング、避難先を確認し、記入

津波が来る場合

「津波到達時間」までに、たどり着くことができる「避難先」に避難します。
「到達時間」と「避難先」を、「わたしの避難計画」に書こう!

津波が来ない場合

強い揺れがおさまった後、自宅が安全な場合は自宅之余震に備えます。
自宅が危険な場合は、指定避難所などに避難します。

自宅が危険な場合は、「避難先」を「わたしの避難計画」に書こう!

※避難先が分からない場合は、静岡市HPや静岡市防災情報マップで確認しよう!

<目次>

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

P1



手順② ハザードマップで自宅の災害リスクを確認し、記入

P2

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

P3



手順④ 大地震発生時の災害リスクを確認し、記入

P4



手順⑤ 避難のタイミング、避難先を確認し、記入

<見本>

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

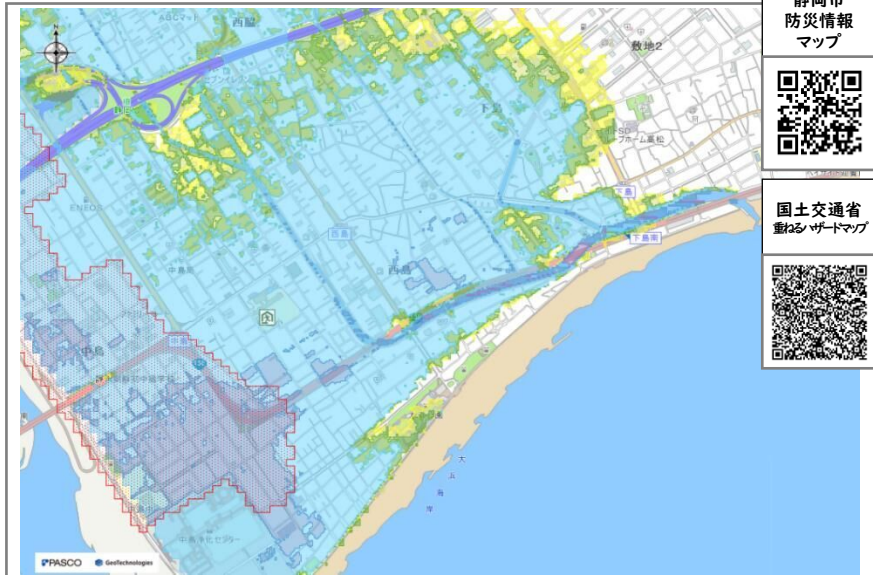
- 家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらおう方を決めておきましょう。

大雨 (河川氾濫 ・ 土砂災害)

手順② ハザードマップで自宅の災害リスクを確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見にくい場合は「静岡市防災情報マップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しましょう。



※内水についても、静岡市防災情報マップで確認してみましょう。 出典：静岡市防災情報マップ

イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

河川氾濫による危険

○家屋倒壊等氾濫想定区域
・河岸浸食
洪水時の河岸浸食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域
・氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

○浸水想定区域(浸水深)
川が氾濫した場合に浸水するおそれがある区域

洪水浸水想定深 (安倍川・蘆科川)
0.3m未満
0.3m以上0.5m未満
0.5m以上1m未満
1m以上3m未満
3m以上5m未満
5m以上10m未満

土砂災害による危険

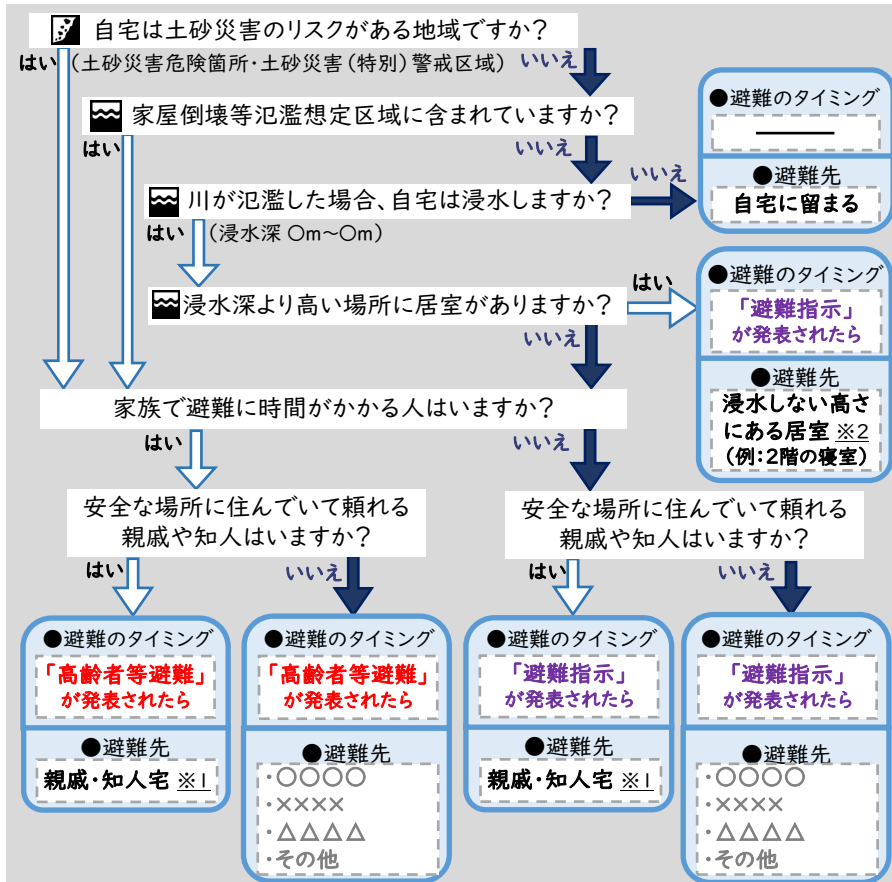
○土砂災害危険箇所
○土砂災害(特別)警戒区域
土砂災害が発生した場合、住民等の生命や身体に危害が生じるおそれのある地域

土砂災害に関する情報	
土砂災害危険区域	
土砂災害危険渓流	
急傾斜地崩壊危険箇所	
地すべり危険箇所	
土砂災害特別警戒区域(土石流)	
土砂災害警戒区域(土石流)	
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)	
土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)	
土砂災害警戒区域(地すべり)	

○風水害の避難場所
風水害緊急避難場所

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。
※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておきましょう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

気象警報、避難情報、同報無線の放送、避難場所の開設状況

- ・静岡市公式LINE
- ・静岡市防災メール
- ・静岡県防災アプリ



避難情報やニュース

- ・テレビ
 - ・ラジオ
- d ボタンで
避難情報表示